

首都圏の第一交通タクシーで「銀聯カード」決済に対応

第一交通産業グループでは、東京・千葉・神奈川地区の第一交通タクシー（666台）で、平成28年3月1日から「銀聯（ぎんれん）カード」決済に対応いたしました。

既に導入済のタクシー車内「10カ国語通訳サービス」に加え、「銀聯カード」に対応することで、今後も増加が見込まれる訪日中国人観光客の個人旅行時に、移動手段としてタクシー利用に繋がるメリットがあります。



(イメージ)

「UnionPay（銀聯・ぎんれん）」は、平成14年に中国の中央銀行である中国人民銀行が中心となり、政府主導で設立された中国での銀行間決済ネットワーク運営会社であり、主に中国の金融機関が銀聯ネットワークに参加しています。中国国内で発行されているほぼ全てのキャッシュカードに銀聯ブランドが付与されており、累計発行枚数は50億枚超といわれています。

海外の銀行・カード会社とも積極的な提携を行い、平成17年12月には三井住友カードとの業務提携により、日本でも銀聯カードが利用可能となりました。



第一交通産業グループでは、平成24年7月宮城地区（335台）、平成28年2月福岡地区（453台）の第一交通タクシーで銀聯カード対応に次ぐ本格導入となります。また、今後は大阪地区等でも順次対応していく予定です。

なお、一部の地域では既に台数を限定して導入している地域があります。（鹿児島、宮崎、兵庫、長野、群馬、北海道）

参考：平成28年1月29日付 福岡地区導入リリース

<http://www.daiichi-koutsu.co.jp/group/gaiyou/data/pdf/h28topics/280129unionpay.pdf>

以上